



社員説明遅い！現場から不安・不満の声相次ぐ！

申14号 新潟駅付近連続立体交差事業高架化第一期開業に関する申し入れ

2017年度「システムチェンジ・コストダウン計画の実施について」として、新潟駅付近連続立体交差事業高架化工事第一期開業に伴う施策の提案を受けました。要員増減の根拠に加え、新幹線・在来線列車の同一ホーム乗り換え実施に伴うホームドアの取り扱いや、列車両側乗降扱いなどについての説明も受けました。

新潟駅の高架化開業はお客さまや地域から大きな期待を受け、全国的にも注目を集める施策であり、失敗は許されないとの認識は労使で一致できるものです。

しかし、大規模な線路設備切り替えや作業の変更を伴うにも関わらず、施策を担う現場社員に対する十分な説明が今日現在もなされていない現実があります。業務内容は周知しているとする支社側の認識は、現場社員が置かれている現実とは大きくかけ離れたものであり、不安の中で業務に就く労働者の声を無視したまま施策を進めることは不必要な失敗を誘発することに繋がります。

大きく変化する作業環境下での安全を確保し、安定輸送を遂行し得る職場環境を実現するために下枠の通り申し入れました。

申14号 申し入れ項目

【共通】

1. 開業を迎えるにあたり社員への説明が実施されていない。社員への説明を早急に実施するとともに、説明が遅れている理由を明らかにすること。
2. 開業日当日の新潟駅構内の警備体制を明らかにすること。
3. 概要について社員への周知期間・周知内容、教育時間をどのように考えているのか明らかにすること。

【運輸関係】

1. 越後線新潟～白山間における風規制の取り扱いを明らかにすること。
2. 新潟駅構内に設置される全ての新たな信号機及びレピーターの建植位置を明らかにし、関係する全ての乗務員に周知と必要な教育を行うこと。 他9項目

【構内設備関係】

1. 新潟駅構内の全体像及び設備について関係する全社員に明らかにすること。 他1項目

【検修業務関係】

1. 高架ホームにおける車両の検査修繕作業時、列車抑止手配、き電停止手配等の手続き方法を明らかにすること。
2. 検査修繕作業で使用する道具及び備品類の保管場所について明らかにすること。 他2項目